SARASA

# サラサクリップにシリーズ商品があることを知ってもらい、買ってもらうアイデア

現状分析

# サラサクリップユーザーに、他シリーズを認知・購入してもらうには

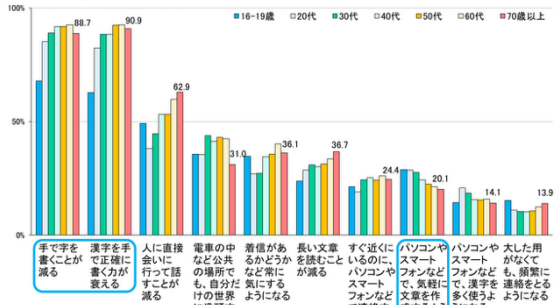
# ”2つのポイント”があります。

Point 1

## 文字を書く機会が減っている

デジタル化が進み、アナログで
文字を書く機会が減っている。
その結果、比較する機会が生まれていない。

図表２ 情報機器の普及で言葉や言葉の使い方が受けると思う影響（年代別）＜複数回答＞




資料：図表１に同じ。

Point 2

## 試し書きではブランドを意識しにくい

試し書きは、書くことが目的になっている
ためブランドを意識することは少ない。



着目ポイント

公式HPにあったこの言葉。




SARASAは、気持ちによってペンを選べるブランド

**色**

気持ちを
色で表せる

**書き心地**

なめらかさや
書きやすさで
気持ちが伝わる

**太さ**

線の強弱で
伝えたい想いが
変えられる。

**では、人はいつ気持ちを書きたくなるのだろう？**

着目ポイント

それは....

# “寄せ書き”

会社では異動や退職のたびに、寄せ書きを書く機会がある。
そこで発生する問題は大きく分けて２つ。

## 準備がめんどくさい問題

・色紙やペンは誰が用意する？
・経費申請が発生する

## 味気ない寄せ書きになりがち

（実体験）
退職する先輩に急遽寄せ書きを書くことになり、
間に合わせで会社にあった黒いペンを使用。
同じ黒い文字で埋まり、せっかくの
想いが少し味気なく感じた。



寄せ書きは、一枚の色紙に複数人が想いを書く。
だからこそ、気持ちによってペンを使い分けるのにぴったりなのでは？

寄せ書きの福利厚生

# SARASA THANKS BOX

企画概要

## 会社に寄せ書き文化を作る福利厚生

# SARASA THANKS BOXを設置






企画概要

## SARASA THANKS BOXには、色紙とSARASAシリーズを同梱。
## 相手への想いに合わせてペンを選び、寄せ書きできる。

フロー

1




THANKS BOXを
オフィスに設置

2



寄せ書きが必要に
なったら箱を開く

3



色紙とSARASA
シリーズが同梱

4



伝えたい気持ちで
ペンを選ぶ

5




気持ちのこもった
寄せ書きが完成

### 気持ちに合わせて選べるラインナップ

| サラサクリップ | サラサナノ | サラサグランド | サラサ3C |
|---|---|---|---|
| おもいきり伝えたい | 丁寧に伝えたい | 心から伝えたい | 親しく伝えたい |

### 色別の感情イメージ

| | |
|---|---|
| ピンク | 感謝・やさしさ |
| 赤 | 大好き・情熱 |
| オレンジ | 元気・エール |
| 黄 | 明るさ・希望 |
| 緑 | 安心・やすらぎ |
| 青 | 誠実・信頼 |
| 紫 | 上品さ・尊敬 |
| 黒 | 落ち着き・思いやり |

ポイント

# 寄せ書きを書く時間そのものが“SARASAの試し書き”になる。

書く人



## 想いにぴったりの一本が見つかる。

・準備不要なので、書くことに集中できる
・色やシリーズを自由に選べる
・試し書き以上に書き心地を体験できる

贈られる人



## 文字にも、想いが宿る。

・一人ひとりの気持ちが、より伝わる寄せ書きになる
・何度見返しても、その時の温かさを思い出せる

SARASA



## 体験で価値を伝えられる。

・全シリーズを自然に試筆
・色数・書き心地・シリーズの違いを理解 し、購入につながる

会社



## 感謝を伝える文化が続く。

・寄せ書きのハードルが下がる
・社内コミュニケーションが活性化

展開案

# “ありがとうを書く場所”を、
# 会社の外にも広げていく。




## ① 大学・学校に置く




感謝を言葉にする
きっかけを、
日常と学びの場へ

## ② カラオケに置く




友人同士の
盛り上がりの中で、
気持ちを気軽に伝える。

## ③ 結婚式場に置く




祝いと感謝が
集まる場で、手書きの
価値を高める。

## ④ 花屋へレンタル展開




ギフトと一緒に、
メッセージ体験も
届ける。

## ⑤ 小売店で販売




文具感度の高い
生活者へ接点を広げる。

## オフィス発の”寄せ書き体験”を、さまざまな生活シーンへ拡張。

# 気持ちまで、描ける。

『SARASA』で、気持ちを伝えよう。